

学校の質問紙からはテレビ・ゲーム・スマートフォンの使用時間が増え家庭学習の習慣

の、「好き、分かる」という児童生徒の割合は低い結果となりました。  
 身につくよう家庭や地域・学校と連携し、取り組みを進めていきます。また、各学校に上に向けた取り組みを進めています。

○国語、算数・数学の2教科を出題

○平成26年4月22日実施

○主に「知識」に関するA問題と、「活用」(知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力など)に関するB問題を出題

### A問題 (知識に関する問題 全15問)

- ◆全道平均正答数と比較すると一人あたり0.8問少ない
- ◆話す・聞くことの領域は全道平均を上回っている
- ◆話すこと・聞くことの領域は全道を上回っているが、読むこと・書くことの領域は正答率が低い
- ◆自分の考えを書く記述式の正答率が低い

## 小学校国語

### B問題 (活用に関する問題 全10問)

- ◆全道平均正答数と比較すると一人あたり0.7問少ない
- ◆全10問で全道平均を下回っている
- ◆話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと・言語の知識理解の領域において全道平均を下回っている
- ◆自分の考えを書く記述式の正答率が低い

### A問題 (知識に関する問題 全17問)

- ◆全道平均正答数と比較すると一人あたり1.4問少ない
- ◆数と計算、量と測定、図形、数量関係の領域で全道を下回っている  
特に割合や図形の理解度が低い

## 小学校算数

### B問題 (活用に関する問題 全13問)

- ◆全道平均正答数と比較すると一人あたり1問少ない
- ◆数学的な考え方、数量や図形についての技能、知識理解の領域において全道を下回っている
- ◆記述式の正答率が低い



## 生活の様子 (小学校児童質問紙の分析結果)

### ★教科に関する質問★

- 【国語の勉強は好き、どちらかといえば好き】→49.6% (全道59.9%・全国59.2%)
- 【国語の勉強は大切、どちらかといえば大切】→91.6% (全道91.7%・全国91.8%)
- 【国語の勉強はよく分かる、どちらかといえば分かる】→68.3% (全道79.3%・全国80.1%)
- 【国語の授業で学習したことは将来役に立つと思う、どちらかといえば思う】→85.2% (全道87.1%・全国87.4%)
- 【算数の勉強は好き、どちらかといえば好き】→66.4% (全道64.0%・全国66.1%)
- 【算数の勉強は大切、どちらかといえば大切】→88.1% (全道91.1%・全国92.3%)
- 【算数の勉強はよく分かる、どちらかといえば分かる】→78.3% (全道76.8%・全国79.6%)
- 【算数の授業で学習したことは将来役に立つと思う、どちらかといえば思う】→86.1% (全道87.2%・全国89.0%)

### ★家庭生活に関する質問★


- 平日1日あたり3時間以上テレビやビデオ、DVDを見る児童の割合→47.6% (全道41.0%・全国38.0%)
- 平日1日あたり3時間以上ゲームをする児童の割合→26.8% (全道22.8%・全国17.0%)
- 平日1日あたり1時間以上携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする児童の割合→17.9% (全道18.5%・全国15.1%) ※3時間以上→8.0% (全道6.7%・全国5.0%)
- 平日1日あたり1時間以上勉強する児童の割合→60.4% (全道51.4%・全国62.0%)
- 〃 2時間以上 〃 →12.9% (全道17.3%・全国25.8%)
- 〃 3時間以上 〃 →4.0% (全道6.2%・全国11.2%)
- 〃 まったく勉強しない →0.0% (全道3.4%・全国3.2%)
- 土・日 まったく勉強しない →5.9% (全道10.1%・全国10.6%)
- 家で宿題をする児童の割合→96.0% (全道94.3%・全国96.5%)



- ・小学校の質問紙からは昨年と比較して家庭学習の習慣化が上向き傾向にありますが、中  
化が昨年より下回る結果となりました。
- ・国語や算数・数学の学習は「大切、将来役に立つ」と考える児童生徒の割合は高いもの
- ・教育委員会では「早寝・早起き・朝ご飯」運動を積極的に推進し、よりよい生活習慣が  
おきましては、各々学校の課題に応じた改善プランを策定し、教職員一丸となった学力向

## 調査の概要》

○町内全小学6年生、中学3年生の児童生徒を対象に実施(小学校5校 101名、中学校4校 80名)  
○ほかに生活習慣、学習環境等に関する質問紙調査を行った(児童生徒に対する調査、学校に対する調査)

<p><b>A問題</b> (知識に関する問題 全32問)</p> <p>◆全道平均正答数と比較すると一人あたり1.7問少ない</p> <p>◆話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと・言語についての知識理解技能の各領域において全道平均を下回っている</p> <p>文書を書くために必要な漢字を書く、語句の意味を理解し、適切に使う設問の正答率が低い</p>	<p>中学校 国語</p>	<p><b>B問題</b> (活用に関する問題 全9問)</p> <p>◆全道平均正答数と比較すると一人あたり0.7問少ない</p> <p>◆9問中すべて全道平均を下回っている</p> <p>◆話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと・言語の知識理解の領域において全道平均を下回っている</p> <p>◆要旨を捉えて伝えるように自分の考えを書く記述式の正答率が低い</p>
<p><b>A問題</b> (知識に関する問題 全36問)</p> <p>◆全道平均正答数と比較すると一人あたり4.8問少ない</p> <p>◆数と式、図形、関数、資料の活用などの領域で全道を下回っている</p> 	<p>中学校 数学</p>	<p><b>B問題</b> (活用に関する問題 全13問)</p> <p>◆全道平均正答数と比較すると一人あたり1.9問少ない</p> <p>◆数と式、図形、関数、資料の活用、数学的な考え方、数量や図形についての知識理解の領域において全道を下回っている</p> <p>◆数学的に考え、その理解や求め方を説明する記述式の正答率が低い</p>

## 生活の様子(中学校生徒質問紙の分析結果)

### ★教科に関する質問★

- 【国語の勉強は好き、どちらかといえば好き】→61.3% (全道59.7%・全国58.2%)
- 【国語の勉強は大切、どちらかといえば大切】→86.3% (全道88.2%・全国89.0%)
- 【国語の勉強はよく分かる、どちらかといえば分かる】→78.8% (全道72.5%・全国72.0%)
- 【国語の授業で学習したことは将来役に立つと思う、どちらかといえば思う】→82.6% (全道82.2%・全国82.5%)
- 【数学の勉強は好き、どちらかといえば好き】→43.8% (全道56.1%・全国56.6%)
- 【数学の勉強は大切、どちらかといえば大切】→82.6% (全道80.6%・全国82.1%)
- 【数学の勉強はよく分かる、どちらかといえば分かる】→62.6% (全道70.6%・全国71.5%)
- 【数学の授業で学習したことは将来役に立つと思う、どちらかといえば思う】→75.0% (全道70.0%・全国71.4%)



### ★家庭生活に関する質問★

- 平日1日あたり3時間以上テレビやビデオ、DVDを見る生徒の割合→42.5% (全道33.8%・全国31.5%)
- 平日1日あたり3時間以上ゲームをする生徒の割合→36.3% (全道24.1%・全国20.3%)
- 平日1日あたり1時間以上携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする生徒の割合→60.1% (全道50.7%・全国47.7%) ※3時間以上→36.3% (全道23.1%・全国19.8%)
- 平日1日あたり1時間以上勉強する生徒の割合→37.5% (全道61.2%・全国67.9%)
- 〃 2時間以上 〃 →7.5% (全道30.2%・全国35.1%)
- 〃 3時間以上 〃 →5.0% (全道8.5%・全国10.4%)
- 〃 まったく勉強しない →15.0% (全道7.7%・全国5.7%)
- 土・日 まったく勉強しない →26.3% (全道13.1%・全国11.3%)
- 家で宿題をする生徒の割合→91.3% (全道89.4%・全国88.2%)

